

さいたま市教組新聞

さいたま市
教職員組合
TEL 641-6763
FAX 648-3567
Eメール saitema@kyouiku-net.org
ホームページ
http://saitama6763.web.fc2.com/
2009.2.27(金)
No.152

防護服と防護マスクつけて職場体験活動 中学生が自衛隊で職場体験する

問題あり

防護服、防護マスク装着 化学防護車に搭乗

さいたま市日進町に陸上自衛隊の大宮駐屯地があります。この駐屯地で市内の中学校六校の生徒述べ七五人が、職場体験活動を行いました。事実が判明したのは、安保・防衛問題の専門誌であり自衛隊の準機関紙ともいわれる週刊誌「朝雲」の一月一九日付六面「部隊だより」に、中学生六人が防護服を着て顔には防護マスクを装着し、基地内を歩いている写真と、「生徒たちは基本教練の後、駐屯地内の各施設を見学、『00式個人用防護装備』の体験試着や『中隊用線量率計』を使用した放射線の体験測定、化学防護車への体験搭乗なども経験し」という記事が載ったためです。

市教委が自衛隊を 事業所リストに載せる

中学生職場体験事業「未未くるワーク体験」は、主に中学一年を対象に、地域や市内のさまざまな事業所で三日間から五日間の職場体験を行うものです。市教委はねらいを「生徒にとって、働くことの意義を知り、将来の生き方を考えるきっかけとなる」としています。そして、市教委が作成した協力事業所一覧には二二七事業所の一つに「陸上自衛隊大宮駐屯部隊」が掲載されています。確かに自衛隊員は公務員であり、自衛隊が職業の一つに数えられている事実はあります。同時に、自衛隊については意見が分かれています。

自衛隊は軍事組織 職場体験の場に適切か

日本国憲法九条二項で「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と定めています。自衛隊が世界有数の軍事力を持つていることは明白です。戦後六三年間、憲法九条があつたからこそ、今まで他国で武力を行使し、他国の国民を殺し、あるいは他国の軍隊と交戦し自衛隊員が死ぬという事態が起きなかつたのです。



考え直そう 平和憲法下の職場体験

しかし、政府は解釈改憲をすすめてきました。自衛隊法が改悪され、海外活動が自衛隊の任務に加わりました。さらに、政府与党は海外での武器使用の基準を緩和しようとしています。間違えば他国と交戦する可能性はゼロではありません。

その点学校は、公的なコンピュータが配備されていないため、少ないコンピュータを数人で使うか、私用のコンピュータを使うために、情報メモリーで持ち



ウイルスに汚染されたコンピュータは自分で処理？

昨年より、コンピュータのUSBメモリーによるウイルス感染が蔓延しています。ウイルスに感染したコンピュータにUSBメモリーを差し込むだけで、USBメモリーにウイルスが入り込み、別のコンピュータに感染したUSBメモリーを差し込むとウイルスが広がるという具合です。すでに民間企業ではUSBメモリーの使用を禁じている状況です。

運ばなければならなのが現実です。そこでウイルスに汚染されるコンピュータが増えます。市教委は、本来自分たちでコンピュータを配備する、職員室にLANを敷く等の労働環境を整備すべきです。その責務を棚上げにして、教職員に対し、ウイルスに感染したコンピュータのウイルス駆除等の作業を自分たちでするように盛んに言っています。

ウイルスを削除するには相当の時間を要します。また、誰でも簡単にできるわけではありません。市教委は、技術者を学校に派遣してウイルス駆除をすべきです。それが市教委のやるべきことです。

調理業務の民間委託校増える

二〇〇九年四月から、給食調理業務の民間委託校が新たに増えます。開校するつばさ小学校の他、北浦和小学校、谷田小学校、中尾小学校、大宮南小学校、宮前小学校、春野小学校、大戸小学校、指扇中学校、西原中学校の十校です。昨年度までに小学校十六校で民間委託されていますので、来年度で小学校二四校、中学校二校となります。

民間委託にあたって。市教委は委託業者に関する事、委託業務の範囲、衛生管理に関する事、等を校長と栄養職員に説明し、日を改めて保護者対象に説明会を実施します。